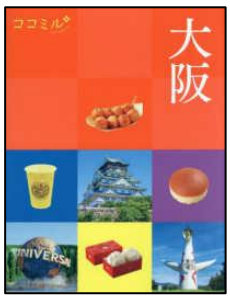
図書館だより

ほくと　103 号
八王子北高等学校図書館
2026 年 10 月

今年も多くの三年生が図書館で進路に向け勉強をしている姿を拝見し、
陰ながらエールを送る毎日です。
少しでも、みなさんの頑張れる場となり、ちょっと息抜きできる場であれば、
そんな図書館をめざしています。

今月は修学旅行をサポートします！

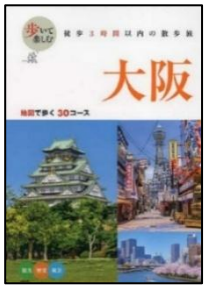
『ココミル大阪』



『るるぶ大阪』



『歩いて楽しむ大阪』



『ユニバーサル・スタジオ・ジャパン』



『広島のトリセツ』



広島の原爆ドーム見学前に参考に！

『綾瀬はるか「戦争」を聞く』TBS テレビ



NEWS23 取材班班編

広島出身の女優・綾瀬はるかが被爆者のもとを訪ねてインタビューをしたもの。

ずばり『「戦争」を聞く』というタイトルそのものの内容となっている。

『オバマ広島演説』



10 年前の 2016 年 5 月に、現職のアメリカ大統領として初めて広島を訪れたオバマ大統領。

原爆慰霊碑に献花を行った後、71 年にわたって苦しんできた被爆者に歩み寄るように所信を表明した。その全文が掲載されている。

『ある晴れた夏の朝』小手鞠るい著　B913.6 コ



原爆を考えるのに必読書！

広島、長崎への原爆投下の是非をめぐり、アメリカの学生たちがディベートを行う。賛成派、反対派、それぞれの発表に対して聴講者が投票して勝敗を決める。しかし、大切なことは結果よりもそれぞれの考え方の違いにある。舞台をアメリカとしたことで、多様な立場からの見解が語られるのが興味深い。

『はだしのゲンわたしの遺書』中沢啓治著　M726 ナ



原爆で父、姉、弟、妹を亡くし、母とともにゼロから再出発した中沢少年が、母の死をきっかけに、戦争責任と原爆の問題に向き合った。実体験をもとに『はだしのゲン』を生み出した漫画家の、不屈の人生。



たこやきも食べてね

新着図書

『夜想い』　住野よる著



ある目的のため中学２年生から再び学校に通いだした始は、ある日廊下に倒れている女子に出くわす。「星空中毒」という珍しい病にかかった、高３の遠山先輩だった。始は先輩の友人のひまわりに誘われ、星空中毒を観察する「空想研究会」に入ることになり―。

少年少女の喪失と出会いの物語。

『燃える夜空に星ちりばめて』　実石沙枝子著



書記法により、人々が自由に物事を書き残すことができなくなった社会。電子義眼と機械の翼を持つ少女スピカは、夜になると違法ラジオを聴きながら、違法郵便を届けて回る。苦しい過去を胸に生きるスピカだったが、ある依頼が彼女を大きく揺り動かす！

少女の成長と言葉の力を描いたジュブナイル SF！

『ギャルにひかれて寺マルシェ』　宮島未奈著



亡き父の酒屋を継いだ英介(30)のもとに、腐れ縁の悪友・光司が押し掛けてきた。小学生の頃に寺に埋めたポケカを掘り出したいと言う。偵察で行った寺マルシェにいたのは「ギャル僧まみたん」として法話をする幼馴染。金儲け兼寺の知名度向上のため、３人はある企画を立ち上げる。予測不能エンタメ開幕！

『はじまりのスープ、夏ゼリー』　瀬尾まいこ著



中森リリー、26 歳。バイトを転々とし、大家のばあさんと軽口を叩きあい、時々料理コンテストに参加し賞をもらいながら暮らしている。

彼女が作る料理は、いつも、相手のことを思いやったものばかり。心も一緒に温まる、おいしいおいしいごはん小説。

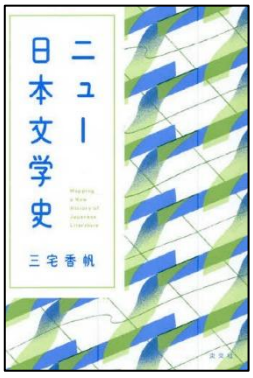
『植物園の歩き方』　カシワイ著



日本最古の温室京都府立植物園、カピバラとサボテンになごむ伊豆シャボテン動物公園、植物分類学の父を記念した高知県立牧野植物園、市民の手で作られた仙台市野草園などなど、魅力的な植物園を紹介。

柔らかなイラストと温かな言葉で楽しみ方を教えてくれます。

『ニュー日本文学史』　三宅香帆著



紀貫之はなぜ『土佐日記』を平仮名で書いたのか？

『紫式部日記』はなぜ暗い？

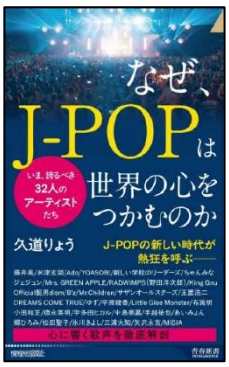
平安時代に存在する「源氏物語風転生もの二次創作」とは？

曲亭馬琴も歴史×ファンタジーを書いた？

日本文学が身近に感じられます！

『なぜ、J-POP は世界の心をつかむのか』

久道りょう著



藤井風、YOASOBI、Ado、米津玄師、RADWIMPS、Mrs. GREEN APPLE　etc.

世界では今、日本語の歌詞が当たり前に流れている。なぜ今 J-POP がアツいのか？

32 人のアーティストたちの声音や曲調、ライブを分析！

『ヨルダンの本屋に住んでみた』　フウ著



どこかの国に滞在してみたくて調べまくった作者が辿り着いたのは、「最高にイケてるヨルダンの本屋」！

そもそもヨルダンってどこ？から始まり、本屋での仕事や観光、仲間たちとの愉快な暮らしをコミカルに描いた滞在記。